

平成30年度

「教育に関する事務の管理及び執行状況」  
の点検及び評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

第26条の規定に基づき議会に提出

飯豊町教育委員会

## 目 次

- 1 教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 教育委員会の事務の点検・評価・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

# 1 教育委員会の活動状況

## 飯豊町教育委員会の活動状況

### 1 教育委員会の開催

- (1) 飯豊町教育委員会会議規則（昭和44年7月17日教委規則第2号）により、教育長が必要と認めた場合において開催することとしている。
- (2) 教育委員会会議については、原則公開としているが、平成30年度において傍聴者はなかった。
- (3) 教育委員会会議の開催予定及び会議の概要について、町ホームページでの周知・公開を今後検討する。  
なお、平成30年度の開催状況は以下のとおりである。

平成30年第4回教育委員会(H30.4.24)  
議事

- (1) 飯豊町公民館分館長の委嘱について
- (2) 飯豊町公民館運営審議会委員の委嘱について
- (3) 飯豊町社会教育委員の委嘱について

平成30年第5回教育委員会(H30.5.18)  
議事

- (1) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 飯豊町幼保連携型認定こども園費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (3) 飯豊町立幼稚園保育料徴収条例施行規則の一部を改正する規則の制定について

- (4) 飯豊町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する規則の一部を改正する規則の制定について
- (5) 飯豊町保育所費用徴収規則の一部を改正する規則の制定について
- (6) 飯豊町児童厚生施設運営規則の一部を改正する規則の制定について
- (7) 飯豊町教育支援委員の委嘱について
- (8) 飯豊町学校給食共同調理場運営委員の委嘱について
- (9) 飯豊町子ども・子育て会議委員の委嘱について
- (10) 飯豊町いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱について
- (11) 飯豊町子ども読書活動推進協議会委員の委嘱について

平成30年第6回教育委員会(H30.8.3)  
議事

- (1) 平成30年度準要保護児童生徒の認定について
- (2) 平成31年度使用小学校用教科用図書及び中学校用教科用図書の採択について

平成30年第7回教育委員会(H30.8.29)  
議事

- (1) 平成29年度「教育に関する事務の管理及び執行状況」の点検及び評価報告書について

平成30年第8回教育委員会(H30.10.16)  
議事

- (1) 飯豊町小学校学区再編検討委員会設置要綱の設定について

- (2) 飯豊町公民館分館管理運営費補助要綱の一部を改正する要綱の制定について

平成30年第9回教育委員会(H30.12.18)

議事

- (1) 飯豊町小学校学区再編検討委員の委嘱について
- (2) 平成30年度準要保護児童生徒の認定について

平成31年第1回教育委員会(H31.2.26)

議事

- (1) 飯豊町放課後学童クラブ設置条例の設定について
- (2) 平成31年度飯豊町学校教育指針について
- (3) 平成31年度飯豊町社会教育指針について

平成31年第2回教育委員会(H31.3.11)

議事

- (1) 飯豊町における運動部活動の在り方に関する方針の策定について
- (2) 飯豊町いじめ防止基本方針の一部改正について
- (3) 平成31年度教職員人事異動の内申について

平成31年第3回教育委員会(H31.3.22)

議事

- (1) 飯豊町立小・中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
- (2) 平成31年度要保護及び準要保護児童生徒の認定について

- (3) 平成31年度飯豊町特別支援教育就学奨励費の交付認定について

- (4) 飯豊町立学校歯科医の委嘱について

- (5) 飯豊町立保育園嘱託医の委嘱について

- (6) 飯豊町スクールカウンセラーの委嘱について

- (7) 飯豊町幼保連携型認定こども園長の任命について

- (8) 飯豊町地区公民館長の任命について

- (9) 平成31年度飯豊町職員人事異動の内申について

## 2 教育委員会協議会の開催

当面する検討課題等について意見交換を行った。

平成30年第2回教育委員会協議会(H30.5.18)

- (1) 小学校の再編にかかる今後の進め方について

- (2) アンケート調査について

平成30年第3回教育委員会協議会(H30.6.4)

- (1) 懇談会に向けた対応について

平成30年第4回教育委員会協議会(H30.6.12)

- (1) 懇談会の資料について

平成30年第5回教育委員会協議会(H30.8.29)

- (1) 小学校の再編にかかる地区懇談会の状況について

- (2) 小学校再編にかかる経過と今後の進め方について

平成30年第6回教育委員会協議会（H30.10.16）

- (1) 小学校再編にかかるアンケート調査の結果について

平成30年第7回教育委員会協議会（H30.12.18）

- (1) 小学校学区再編検討委員会について

(4) 西置賜地区教育委員会協議会研修会（H30.11.7）

- ・講演 「出藍の誉れ」時代の学校教育と教育行政

講師：文部科学省初頭中等教育局

財務課長 合田哲雄 氏

[学校等訪問]

各小中学校訪問（H30.6.4、H30.6.12）

### 3 教育懇談会、研修会への参加等

教育懇談会に参加したほか、西置賜地区や県の関係機関が開催する研修会に参加し、教育における諸課題について研修した。

[教育懇談会]

- (1) 平成30年度飯豊町教育懇談会（H31.1.18）

[教育委員研修]

- (1) 平成30年度東北六県市町村教育委員会連合会教育委員・教育長研修会（H30.7.13）

- ・講演 「食から始まる人づくりと地域づくり」

講師：イタリア料理店「アル・ケッチャーノ」

オーナーシェフ 奥田政行 氏

- (2) 山形県市町村教育委員大会（H30.8.3）

- ・記念講演

「これからの地域の活性化～地方の進むべき道～」

講師：佐藤繊維株式会社 代表取締役社長 佐藤正樹 氏

- (3) 平成30年度市町村教育委員会研究協議会（H30.10.15-16）

- ・基調講演 地域の未来と新学習指導要領－「社会に開かれた教育課程」の具現化に向けて－

講師：上智大学総合人間科学部教育学科 奈須正裕 氏

## 2 教育委員会の事務の点検・評価

(重点項目) 学校教育の充実

◇目標 安心・安全で楽しく学べる学習環境の整備を図るとともに、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図ります。また、子ども達の望ましい教育環境を確保するため、今後の学校の在り方について検討を進めます。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 教育環境の充実</p>	<p>①問題を抱える児童生徒の自立支援や相談活動、問題行動の未然防止のため学校支援員や児童生徒相談員を各校に配置するとともに、教育相談体制の充実を図ってきた。</p> <p>②いじめ問題は、「どの子どもにも、どの学校においても起こり得る」ものであることを認識し、いじめの早期発見及び対応に努めるとともに、平成 26 年度に「飯豊町いじめ防止基本方針」を策定し、平成 31 年 3 月に一部改正を行った。また、いじめの未然防止に向けては、学校における取組状況の点検や教員研修の充実を啓発し、指導主事やスクールカウンセラーによる個別の相談活動や指導・助言を行った。</p> <p>また、「Q-U テスト」を全校で実施するとともに、スクールカウンセラーによる心理相談</p>	<p>①学校支援員等の配置（達成） ◇児童生徒自立支援員 1 名、学校支援員 7 名を配置し、学習活動の支援や相談活動等に当たった。</p> <p>②小学校は、1 学期に 11 件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、2 学期に 10 件解消された。2 学期にも新たに 7 件の報告があり、同様の対応を行い、3 学期に全て解消となった。</p> <p>中学校は、1 学期に 4 件のいじめ問題が報告された。すぐに学校いじめ防止方針に基づいて対応し、2 学期に 1 件解消されたが、2 学期に新たに 2 件の報告があり、学校いじめ防止方針に基づいて対応し、3 学期に全て解消となった。（達成）</p>		<p>①引き続き各校への学校支援員の配置に努めるとともに、有資格者の確保と支援員研修を実施していく。</p> <p>②いじめ問題に対する取組を学校と教育委員会が一丸となって進め、児童生徒や家庭との信頼関係を築きながら、問題を抱える児童生徒一人一人に応じた指導・支援を積極的に進めるとともに、関係機関が連携し、今後もいじめ問題の発生を未然に防ぐ取組を恒常的に実施する。また相談窓口を継続して設置し、その周知を図る。</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>を実施した。</p> <p>③体罰の防止に向けては、体罰に関する正しい認識を徹底するための研修を学校等で行うとともに、学校に対し体罰を把握した場合には直ちに報告するよう求め、体罰の実態把握に努めた。また、既存の相談窓口を活用し児童生徒や保護者の悩みを相談することができる体制づくりを行った。</p> <p>④国際化社会に対応した教育施策の一環として、外国人の外国語指導助手を配置し、外国語によるコミュニケーション能力の向上や国際感覚の養成を図ってきた。</p> <p>⑤学校と家庭と地域の連携を深めるために、学校を中心として日常的な意見交換及び交流の場をつくってきた。</p>	<p>③学校における体罰件数は0件であった。（達成）</p> <p>④外国語指導助手の配置（達成） ◇小中学校及び幼児教育施設において、学習指導要領に基づく学習指導や異文化理解等が深められるよう、外国語指導助手を継続して2名配置した。</p> <p>⑤学校・家庭・地域連携（達成） ◇学校運動会と地域スポレク大会の合同開催や、日常的な交通安全や防犯等の活動を通じて地域連携が行われている。</p>		<p>③教育現場において、教員や部活動の指導者等が体罰に関する正しい認識を持ち、児童生徒理解と適切な信頼関係に基づく指導が行われるよう学校支援を強化し、継続して体罰の発生防止に努める。また体罰に関する相談窓口を開設し広報等で周知を図る。</p> <p>④引き続き外国語指導助手の配置を行う。</p> <p>⑤引き続き、学校と家庭と地域が連携し、教育環境の充実を目指すとともに、地域で子どもたちを育てる意識を高めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑥食育（食を通じた子どもの健全育成）活動を推進し、児童生徒が健全な食生活を自ら営むことができるよう、関係機関や各種団体等が連携し取り組みを進めてきた。</p> <p>⑦身近な地域教材や伝承文化、地域事業内容を総合的な学習の時間のプログラムに取り入れ、自然環境を活用した体験教室や地域を知るための郷土教育を推進してきた。</p>	<p>⑥食育の推進（ほぼ達成）</p> <p>◇栄養教諭による出前講話や「栄養ひとロメモ」の発行による栄養知識や食文化の普及に努めた。</p> <p>◇生産者との連携を強化しながら地場産農林畜産物の積極的な給食利用を行い、生産者と児童生徒の交流を通じ食育推進を図ってきた。</p> <p>◇県外産学校給食食材の事前の放射性物質検査や、1週間分の学校給食の事後の放射性物質検査を実施するとともに、衛生管理の徹底を行い、更なる学校給食の安全や安心の確保に努めた。</p> <p>⑦体験教室と郷土教育（達成）</p> <p>◇学校の活動を中心として、社会科町めぐり探検や職場体験学習、学校田（林）活用、ボランティア活動など、総合的な学習の時間に多彩なプログラムが実施されており、地域の有識者を招いての郷土学習を行うなど地域に誇りと愛着を持つ学習が重視されている。</p>	<p>朝食をとる小学校児童の割合</p> <p>【H32 目標】 100.0%</p> <p>【H30 実績】 100.0%</p> <p>【H22 実績】 93.8%</p> <p>朝食をとる中学校生徒の割合</p> <p>【H32 目標】 100.0%</p> <p>【H30 実績】 89.8%</p> <p>【H22 実績】 88.7%</p>	<p>⑥健康福祉課や農林振興課と連携を図りながら、引き続き学校給食への町内農林畜産物の利用促進や保健活動と連携した食生活指導、健康づくり推進を行い、健全な食生活及び食習慣を養うための取り組みを展開していく。</p> <p>⑦引き続き、学校と地域が連携し体験学習や郷土学習を展開する中で、環境教育や感性教育、地域教育を推進し、社会や人々と豊かに関わり合える子どもを育成する。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>⑧一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図りながら確かな学力を育み、子どもの豊かな創造力と個性を伸ばす教育を進めてきた。</p> <p>⑨「飯豊町学校・幼児教育環境将来構想」に沿って、小学校の統廃合を進めるため平成 28 年度に策定した「小学校適正配置基本計画」に基づき、地区懇談会やアンケートの実施、学区再編検討委員会の設置を行った。</p>	<p>⑧個性を活かし確かな学力を育む（ほぼ達成）</p> <p>◇子どもの興味・関心を高め、豊かな心で未来を生き抜く力を身につけさせるための学校生活支援や、子ども主体の学校行事の支援を行ってきた。各校とも、学習発表や学校行事、ボランティア活動、児童生徒会活動等あらゆる場面を通して、自分の思いや考えを伝え合い、共に高め合う取り組みが継続的になされている。</p> <p>◇学習習慣の定着と学力の向上を目指し、中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」を継続して開講し、平成 30 年度は、各学年 20 回開催した。</p> <p>⑨小学校の再編統合</p> <p>◇第二小学校（未達成）</p> <p>◇手ノ子小学校（未達成）</p> <p>◇添川小学校（未達成）</p> <p>平成 30 年度は、保護者及び地区住民を対象とした、地区懇談会をそれぞれ学区毎に開催した。また、小学校 6 年生までの子供の保護者を対象に小学校の</p>		<p>⑧引き続き、確かな学力を育むために一人ひとりの良さや個性を活かす教育の推進を図る。</p> <p>中学生を対象とした町営学習教室「いいで希望塾」については、令和元年度においても引き続き実施し、各学年 20 回の開催を予定している。</p> <p>⑨各検討委員会において、小学校の将来のあり方について検討した結果を令和元年 12 月末まで提出することとしており、その結果を踏まえて最終的な判断を行う。</p> <p>引き続き、子どもの立場にたった望ましい教育環</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2) 教育施設の整備</p>	<p>①児童生徒の安全を確保するための危機管理体制の確立と地域の連携の構築を目指した。</p>	<p>将来のあり方についてのアンケート調査を実施。その後、それぞれの学区の地域の方々に構成する選考委員会において検討委員のメンバーを選出し、小学校学区再編検討委員会をスタートした。</p> <p>①危機管理体制の確立（ほぼ達成）</p> <p>◇学校施設のセキュリティー強化のために、施設警備保障業務を強化し、防犯カメラ・防犯ライト・玄関への電気錠の設置を行っている。</p> <p>◇防犯協会やPTAの活動を中心として防犯パトロール活動の強化を行った。</p> <p>◇飯豊町行政情報配信システム等を活用し、小中学校全校で携帯電話機への緊急メール配信の運用を行っている。</p> <p>◇通学路道路交通安全プログラムに基づき、平成30年度は手ノ子小学校の通学路の合同点検を実施した。（平成29年度は第一小学校、第二小学校及び添川小学校で実施）</p>		<p>境実現を最優先に捉えた上で、小学校適正配置基本計画に基づき小学校再編を進めるために、学校統合について理解を求める。</p> <p>①関係機関と連携し、引き続き、児童生徒の通学路の安全確保に努めるとともに、学校施設の防犯体制の確立及び危機管理体制の強化を図る。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②地域情報通信基盤整備推進事業により、全校で光通信による高速インターネット接続が可能となっている。また、パソコンや電子黒板等のICT環境を整備し、子どもたちの情報活用能力の育成を図っている。</p> <p>③スクールバスの運行を委託方式により実施する中で、遠距離児童生徒の通学手段の確保を図るとともに、学校行事、学習活動や部活動等に活用している。</p> <p>④教育施設の更なる充実に向けて、学校の要望を踏まえて、施設整備や備品購入等の事業を計画的に進めてきた。</p>	<p>◇小学校における登下校時の総合的な防犯対策を強化するため、通学路緊急合同点検を実施した。</p> <p>②情報機器教育の充実（達成） ◇更なるICT環境の充実を図るため、小学校の授業において1人1台のiPadが使用できるように増台したほか、中学校の教育用パソコンの更新及び周辺機器等の更新・整備を行った。</p> <p>③スクールバスの運行業務の充実（達成） ◇平成30年度は2号車の更新を行った。又、スクールバスの運行にあたり、学校及び関係機関と調整を計りながら、適正な運行を行った。</p> <p>④学校施設整備（達成） ◇平成30年度は、第一小学校遊具等整備工事、手ノ子小学校駐車場整備工事、添川小学校放送設備修繕工事、第二小学校ITV設備更新工事、第二小学校排煙窓オペレーター修繕工事をはじめ</p>		<p>②ICT機器の計画的な更新を行うとともに、更なるICT環境の充実を図り、情報化社会に対応できる子どもを育てる。</p> <p>③引き続き、スクールバスの適切な運行及び管理に努める。</p> <p>④引き続き、計画的に施設整備や備品整備を進める。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		め、各種修繕工事を実施するとともに、第一小学校牛乳保冷庫購入、手ノ子小学校ポータブルアンプ購入飯豊中学校生徒用イス購入など学校備品の充実を図った。		

(重点項目) 生涯学習活動の推進

◇目標 地域の特色を生かし、創意工夫による生涯学習活動を展開し、明るく活力に満ちた地域づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) 学習環境の整備	①町民総合センターや地区公民館を中心とした生涯学習環境の整備・充実を促進した。	①生涯学習環境の整備・充実 (達成) 白樺地区公民館の事務室改修、西部地区公民館ホール照明のLED化を始め各地区公民館の修繕を行った。また、分館施設整備事業では、西部地区公民館向原分館を始め白樺地区公民館下樺分館、中部地区公民館石原分館等の一部修繕について、分館施設整備事業により助成を行い、分館の老朽化や修繕に対応した。		地区公民館施設の適宜適切な修繕等を行なうとともに、老朽化が進む分館施設の改善について、啓発・指導に努め、より計画的な整備を推進する。
	②学校・家庭・地域が連携し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実に努めた。	②子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動環境の充実 (一部達成) 学校・家庭・地域の連携協働推進事業を平成29年度より実施しており、平成30年度は飯豊中と第一小に推進員を配置し、学校と地域連携のパイプ役という重要な役割を担っていただき、子どもたちと地域の人々がかかわる学習環境の充実に努めた。		将来的に町内全ての小中学校に推進員を配置し、子どもたちと地域の人々がかかわる学習活動の充実に努め、子どもたちの健全育成や社会力の向上を図る。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2) 学習機会の充実</p>	<p>①地域の要望や要請に応えられる魅力的な学習機会の充実や学習情報の提供に努めた。</p>	<p>①魅力的な学習機会の充実と学習情報の提供 (達成) 各地区公民館で開催される事業については、ホームページやチラシ等を活用し、魅力的な学習機会や学習情報の提供に努めた。また、いいで天文台の運営では、業務を委託している天文愛好会ペルセより、地域に出向いた活動を行い、天文教育の普及に努めた。</p>	<p>地区公民館（5館）利用者数 【R2 目標】 58,000人 【H30実績】 46,741人</p>	<p>生涯学習への期待や要望などの把握に努めるとともに、各地区公民館の事業などを通して、学習・研修機会の提供、相談体制の充実やインターネット等を活用した情報提供を推進する。 また、学校教育・社会教育両面から天文台を活用した学習活動を推進する。</p>
	<p>②自治組織・PTA・子ども会育成会などの地域活動やNPO・ボランティア団体の活動を支援した。</p>	<p>②子ども会育成会等の地域活動やボランティア団体の活動支援など (達成) 子ども会育成会活動の振興を図るため、各地区子ども会育成会連絡協議会を通して、各単位子ども会育成会に対して事業活動費の一部を助成した。</p>		<p>今後も、各地区子ども会育成会に対し、活動支援を行っていく。 特定非営利活動法人いいでスポーツクラブキララとスポーツ少年団・公民館との連携を推進する。</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(3)文化財保護と利活用	①地域に存在する文化財の保護と利活用を促進した。	<p>① 文化財の保護（達成）</p> <p>萩生城址・萩生石箱遺跡両公園の維持管理を実施した。</p> <p>萩生石箱遺跡の復元住居の部分的な萱の葺替えを実施した。</p> <p>開発事業に対して埋蔵文化財保護法に則った遺跡の試掘確認を町内1か所で行った。他にも数件の開発事業の問い合わせがあり対応した。</p>		<p>今後も既に県・町に指定されている文化財だけではなく、古文書・遺跡・有形文化財・無形文化財・天然記念物など、飯豊町の歴史と文化を象徴する文化財群について保護・保存・継承を図る。</p> <p>また、飯豊町の文化財収蔵庫の設置を急ぐ。</p>
	②地域の歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくりを推進した。	<p>② 歴史や文化を後世に伝えるための基盤づくり（達成）</p> <p>平成30年度の文化財事業については飯豊町歴史文化基本構想の策定を軸として推進した。</p> <p>平成29年度に調査を実施した裏山Ⅰ遺跡の発掘調査報告書を作成し発刊した。</p> <p>岩倉神社本殿・喜雲寺・吉祥寺において木造仏像・神像の悉皆調査、石碑・奉納札・獅子頭の悉皆調査を昨年度より継続した。また伊藤嘉六家文書の翻刻を継続した。</p> <p>諏訪神社荒獅子祭保存会と協力し、諏訪神社獅子頭修復事業を実施した。</p> <p>飯豊史話会との協働によって平成28年度より進めてきた岩</p>		<p>飯豊町内で歴史上重要な位置付けがなされている史跡や文化財について、調査研究を推進するとともに情報を集積し、本来の価値を明らかにすることで、新たな指定・登録文化財へ位置付け、学習会の題材として取り上げるなど、飯豊町の魅力ある文化の周知を進め、文化財を後世に伝える意識を地域内に醸成する。</p> <p>学校教育や歴史文化の研究・活用を進める団体の活性化に協力することで、人材の育成を図る。</p> <p>令和元年度に歴史文化</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>倉神社仁王像の修復事業が完了した。お披露目展示の後に仁王門へ搬入した。</p> <p>手ノ子区協議会宇津峠部会との協働によって、宇津峠の歴史と文化を学ぶワークショップを開催し、その中でイザベラバードの記念碑を建立するとともに散策道へ道標を設置した。</p> <p>萩生城の整備計画を策定するための調査研究事業を山形大学へ委託し報告書を作成した。</p> <p>天養寺観音堂周辺の試掘調査、遊歩道をはじめとした整備事業に着手した。</p> <p>地域史学習会・古文書研究会・講演・展示・広報を通して飯豊の歴史文化を学ぶ場を提供するとともに小学校の町巡りなど学校教育への協力を行った。</p> <p>散居集落の史跡パンフレット、天養寺観音堂のリーフレットを作成した。</p>		<p>基本構想を策定し、文化財保護行政を推進する。</p>

(重点項目) 生涯スポーツ活動の推進

◇目標 生涯をとおしてスポーツに親しみ、スポーツをとおして人々との交流や健康づくりができる環境づくりを推進します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(1) スポーツ環境の整備	①町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場などのスポーツ施設を管理・運営し、施設利用の促進を図った。	①社会体育施設の管理・運営と利用の推進（達成） スポーツ施設の管理・運営の一部業務を指定管理又は委託し、適切な管理・運営がなされるよう指導・支援した。 施設管理面では、各スポーツ施設の維持管理に努め、手ノ子スキー場では、シュレップリフト改修やゲレンデの排水対策、さらには経年劣化により毎年修繕を要していた圧雪車を更新するなど環境整備に努めた。		町民スポーツセンター、町民野球場、町民プール、手ノ子スキー場、中津川体育館などのスポーツ施設の利便性と安全性を確保し、利用の拡大を図るため、継続して各施設の維持管理や整備に取り組む。
(2) スポーツ活動の推進	①生涯スポーツの実現に向け、一人1スポーツを目標に体育協会、特定非営利活動法人いいでスポーツクラブキララやスポーツ推進委員会など各種団体を支援・育成するとともに連携し既存施設の利活用を図った。	①生涯スポーツの実現に向けた取組み（達成） 町体育協会（地区体協、スポーツ団体を含む）及びいいでスポーツクラブキララの事業活動の指導・支援を行った。 特に、いいでスポーツクラブキララの運営面においては、スポーツ少年団やスポーツ推進委員、地区公民館の参画により、施設利用や事業面での連携が図られ、スポーツ活動の推進及び文化活動にも取り組んだ。	町民スポーツセンター利用者数 【R2目標】 12,000人 【H30実績】 11,532人  いいでスポーツクラブキララ会員数 【R2目標】 400人 【H30実績】 337人	いいでスポーツクラブキララについて、町民への啓発やクラブ運営の充実を図り、特に一般会員数の増加に努め、自立したクラブ運営の基盤づくりを推進するとともに、クラブ事務局体制の充実を図る。 また、スポーツ少年団にあつては、引続き魅力ある団運営と指導者の資質向上を図り加入率の向

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②全国白川ダムマラソン大会などのスポーツイベントの開催によりスポーツ人口の増加を図った。</p>	<p>②スポーツイベントの開催（達成） 平成30年度は町制施行60周年記念大会としてオリンピックに3大会連続出場の弘山晴美さんをゲストランナーに迎え、さらには計測チップを採用し、ゴール後、記録証にタイムと順位を印字するなど多くのランナーに好評をいただいた。</p>		<p>上に努める。</p> <p>全国白川ダム湖畔マラソン大会を町民の健康・交流の象徴的な事業（イベント）と位置づけ、町内外及び県外からも多くの参加を得て開催できるよう運営方法の改善に努める。</p>
<p>(3) 競技力の向上</p>	<p>①各競技指導者の人材確保と指導力向上を図り、小学生から社会人までの競技力の向上を図った。</p> <p>②児童・生徒の運動能力の向上を目指した。</p>	<p>①指導者のための研修会・講習会の開催など（達成） 小学生の走力向上を図るため陸上教室を行った。 町スキークラブ員及び小中学校教諭、保護者等を対象にスキー指導者講習会を開催した。</p> <p>②スポーツ教室の開催（達成） ジュニア陸上教室、親子スキー教室を開催した。</p>	<p>児童の運動能力 （小学5年・全国平均を上回る種目数の割合） 【R2目標】70.0% 【H30実績】75.0%</p> <p>生徒の運動能力 （中学2年・全国平均を上回る種目数の割合） 【R2目標】80.0% 【H30実績】37.5%</p>	<p>今後も小学生の運動能力向上を図るため、陸上教室を継続して開催する。</p> <p>競技力向上や運動能力向上を図るため、陸上・スキー等のスポーツ教室の開催について、今後も継続する。</p>

(重点項目) 子育て環境の整備

◇目標 「飯豊町次世代育成支援行動計画」に基づき、次世代を担う子どもたちを安心して育てられる環境づくりを総合的に進め、子どもが健やかに成長できるまちづくりを目指します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 子育て支援サービスなどの充実</p>	<p>①産休明け保育や一時保育、放課後児童クラブなど多様なサービスを展開し、子育てしやすい環境整備を図ってきた。</p>	<p>① 産休明け保育の実施（達成）                      出産後も仕事を続けたいという女性のために、特にニーズの高い産休明け保育（生後3ヶ月～6ヶ月）を実施している。</p> <p>◇延長保育の実施（達成）                      全児童施設において午前7時30分から午後6時45分までの早朝・延長保育を実施している。</p> <p>◇一時保育の実施（達成）                      NPO法人「ほっと」との協働の取り組みによる委託事業として実施している。</p> <p>◇放課後児童クラブの実施（達成）                      すべての小学校区の児童を対象とし、町内2箇所の放課後児童クラブを設置し、保護者の意向調査等から小学6年生まで拡大し実施している。</p>	<p>保育施設待機児童数                      【H32 目標】 0人                      【H30 実績】 6人</p>	<p>①次世代育成支援行動計画の後期計画を包含し作成した子ども・子育て支援計画に基づき、子育て相談窓口の機能強化、多様な保育ニーズへの対応、乳幼児保育の充実、子育て世代包括支援センターと連携した児童虐待等の未然防止や迅速対応への体制整備、NPO法人との協働の取り組みの推進など総合的な子育て支援体制の充実に努めていく。</p> <p>◇幼児施設教育と家庭教育の連携強化を図り、安定した親子関係の構築に努めていく。特に、未満児の保育については、家庭の役割、親の役割を十分に保護者に理解してもらうような働きかけをし、子どもと共に親も成長する過程を阻害しないようにしていく。</p> <p>◇将来の保育需要の動向や出生数の推移等を見定めながら、低年齢児の保育ニーズに適切に対応するため、</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>◇ファミリー・サポート・センターの運営（達成）</p> <p>育児の援助を行う者と育児の援助を受けたい者を会員とする相互援助活動を組織化することにより、仕事と育児を両立できる環境を整備し、地域の子育て力を高めていくことを目的とし運営している。（平成30年度末 会員数94人 利用件数213件）</p>		<p>子ども・子育て支援新制度や幼保一体化の議論なども踏まえ、就学前児童にとって望ましい保育環境について、幼児教育環境将来構想に基づき実現していく。</p> <p>◇小学校の児童に対して、授業の終了後等に余裕教室などを利用して適切な遊びの場及び生活の場を与えるとともに、その健全な育成を図るため放課後児童クラブを継続して開設し、放課後児童対策の充実に取り組んでいく。</p> <p>◇利用件数の増加や依頼内容の多様化に伴い、特に、子育てをサポートする協力会員の人員確保と講習会などで安全管理等の研修を積み重ねていくことが求められており、会員間の交流会の開催をとおして信頼関係を築きながら安心安全なサポート活動を提供するとともに、引き続き事業啓発に取り組んでいく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②「めざみっ子カリキュラム」に沿い、小学校と幼稚園・保育園等との交流・連携・情報交換を図ってきた。</p> <p>③園の畑での作物栽培や地場農産物を利用した手づくりおやつ提供などの食育の推進、高齢者との世代間交流事業の実施、伝統芸能（獅子舞や太鼓）など農村文化を体験する活動に取り組んできた。</p> <p>④こどもみらい館の活動を中心に子育て講座や、ブックスタート、あそびの広場等の各種広場を開設し、子育て世代の交流支援と、子育てサークルの活動支援を行ってきた。</p>	<p>②幼保小の連携（達成） 就学予定児を対象とした給食体験や交流活動、就学後の授業参観など小学校との連携は十分に図られてきている。</p> <p>③食育の推進など（達成） 地場農作物や、園の畑から収穫された旬の食材を給食やおやつに利用し、畑の先生の指導を受けての野菜栽培体験や生産者との交流、栄養士との連携による園児・保護者への「食育」の啓発、祖父母参観の実施や、食改グループ、高齢者団体、地域住民との交流が行われている。また、獅子舞など農村文化を体験する機会を創出している。</p> <p>④こどもみらい館の運営（ほぼ達成） 子育て支援センターを併設した自由来館型児童館として、未就学の子どもと保護者、小学生等の集いと交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供などの子育て支援を実施している。子育てサークルとの連携による交流促進を図っているものの、組織拡大に向けたさらなる支援が必要である。</p>	<p>こどもみらい館利用者数 【H32 目標】 10,000 人 【H30 実績】 7,826 人</p>	<p>②幼保小連携スタートプログラムの意義を十分に理解し、幼保小の連携と情報交換を一層進めていく。</p> <p>③引き続き、子どもたちが農村の豊かさを実感できるような食育教育の推進と高齢者の方などとの交流による保育・幼児教育の推進に取り組み、ふるさとに対する愛情を醸成していく。</p> <p>④生まれる子どもの6割以上が0歳児から入所しており、みらい館の利用客数は年々減少している。せめて、親子の心の絆が安定する1歳まで、できれば、3歳まで家族の愛を十分に受けながら、家庭保育をできる環境づくりを行っていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(2) 子育て家庭の負担軽減</p>	<p>⑤平成28年度より教育・保育を一体的に行う幼保連携型認定こども園「飯豊わくわくこども園」を整備した。</p> <p>①保育施設等の利用者負担の軽減を実施し、子育て世代の経済的負担を軽減してきた。</p>	<p>⑤幼保連携型認定こども園（達成） 平成28年4月から、旧さゆり保育園を乳児部、旧中部幼稚園を幼児部とし、年齢別の教育・保育を行っている。</p> <p>①保育園保育料幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成） ◇保育園保育料の軽減（達成） 保育料の負担階層区分の変更など保育料算定基準の見直しを行うとともに、低所得者世帯及びひとり親世帯の負担軽減措置を平成28年4月から実施している。 また、平成28年4月から、入園児が、同一世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。保育園への複数人の同時入所の場合、二人目の軽減額を拡充し、1/3の額としている。</p> <p>◇幼稚園保育料及び児童センター使用料の軽減（達成） 平成28年4月から、入園児の保護者負担金を月額12,500円から10,000円に引き下げ、同一</p>		<p>⑤全ての子どもに質の高い幼児期の教育及び保育の総合的な提供を行うため幼児施設の2園化に向けて取り組んでいくと同時に、発達障害を持つ子どもたちの生育環境を考慮した施設の設置を検討していく。</p> <p>①今年度10月より始まる、幼児教育・保育の無償化に伴い、3歳～5歳及び3歳未満児の住民税非課税世帯の保育料が無償となり、子育て世代の経済的負担が軽くなると見込まれる。未満児に関しては、引き続き、保育料等の軽減策を継続していく。 また、3歳から5歳児で、保育園に入園または、認定こども園2号にあたる子どもの給食費については、今までは保育料に含まれていたが、10月からは、保育料が無償になる代わりに、実費負担分として、給食費を徴収することになる。</p>



事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
	<p>②幼稚園等入所児童への給食提供を実施し、育児や家事の負担軽減に取り組んできた。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスに町のスクールバスを利用し、利用者負担金の軽減を図ってきた。</p> <p>④東日本大震災による被災児童を受入れし、保育料等の支援に取り組んできた。</p>	<p>世帯の18歳までの子から数えて第三子以降の場合、保育料を無料化している。また、平成28年4月から、幼稚園等へ複数人の同時入所の場合、二人目から5,000円を減免している。</p> <p>②幼稚園等入所児童への給食提供（達成） 幼稚園と児童センターに、学校給食共同調理場からのおかず給食の配食を実施し、子どもの成長過程にあった給食提供に取り組んでいる。</p> <p>③児童施設の園児送迎バスの運行（達成） 園児の送迎バスとして、スクールバスを活用し運行するとともに、運転手の人件費、燃料費等を負担している。また平成26年度から添乗員の保険料、人件費の一部を助成している。</p> <p>④東日本大震災による被災児童の受入れ（達成） 幼児部1名を積極的に受入れし、保育料の免除等の支援を実施している。</p>		<p>②今後も、栄養士が献立し、栄養バランスに配慮した、安全でおいしいおかず給食の配食を実施していく。また、小学校等の長期休業期間中におけるおかず給食の配食についても学校給食終了後1週間程度実施している。</p> <p>③利用人数の増減により、利用者負担金の増減、添乗員手当の増減が生じないよう各園で一定程度の均衡が図られるように配慮したルールづくりを検討していく。</p> <p>④東日本大震災による被災者で該当する者は減少しているが、他の災害の被災者もいるため、今後も、被災児童を積極的に受入れし、被災者支援として継続して取り組んでいく。</p>

(重点項目) 多様な芸術文化活動の推進

◇目標 誰もが、どこでも、芸術文化に親しみ、感動の機会に触れることのできる環境の整備を進めるとともに、芸術文化団体の創造的な活動に対して、支援します。

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
<p>(1) 音楽からのまちづくりの推進</p>	<p>①音楽愛好者や各種団体の育成に努め、めざまの里音楽祭の開催などにより、より多くの町民が気軽に音楽に親しむことのできる環境整備に努めた。</p> <p>②「飯豊町民の歌：ラブリーホームタウン」や、イメージソングなど、積極的な利活用を推進し、音楽からのまちづくりにつなげた。合唱組曲「飯豊山～我が心のアルカディア～」はめざまの里カンタートを中心に普及を図っている。</p>	<p>①夏至の日の音楽祭など、様々な事業について原点に戻り開催し、気軽に参加できる祭典とした。 (ほぼ達成)</p> <p>第23回めざまの里音楽祭 11月10日(土)開催 町内10団体が出演</p> <p>②第13回めざまの里カンタート 7月7日(土)～8日(日)開催(全国より約140人参加)</p> <p>めざまの里まつりにおいて、町民の歌「いつも心に」の全員合唱を行っている。 第二・手ノ子・添川小学校では、創立記念式において町民の歌を合唱している。</p>		<p>「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標と施策にそった事業を展開し、子どもたちや高齢者・町民が「音楽からのまちづくり事業」をとおして、地域の活性化に関心を持ってもらい、郷土愛を育み飯豊に残る(戻ってくる)ような施策を継続して実施していく。</p> <p>さらには、音楽活動をとおした交流をさらに展開し、入込客の増加、交流人口、関係人口の増加と町の活性化を目指す。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
(2) 芸術文化活動の推進	<p>① 多種多様な芸術文化活動を展開し、一人ひとりが自主的に生きがいを持って活動できるような環境整備を進めた。また、地域の祭りや伝統芸能の保存・継承に努めた。</p> <p>各種芸術文化団体の活動支援及び育成に努めた。</p>	<p>① 第45回町芸能発表会 10月21日(日)開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種展示の実施</li> <li>・踊り等の発表</li> </ul>	<p>◆町芸術文化協会会員数</p> <p>【H32 目標】 540人</p> <p>【H30 実績】 261人</p> <p>【H21 実績】 537人</p>	<p>芸術文化協会会員が減少している中、今後も若者の発掘や芸術文化に親しむ環境づくり等を行いながら後継者育成・会員確保に努めていく。</p> <p>また、現会員のためにも、芸能発表会・会員作品展を継続的に開催し、芸術文化の普及を推進する。</p>
(3) 優れた文化・芸術に親しむ環境づくり	<p>町民総合センターを活用し、優れた芸術文化を鑑賞する機会の充実に努めるとともに、施設整備の充実も図った。</p> <p>読書普及活動、図書利用が促進されるような環境づくりを図った。</p>	<p>優れた芸術文化に触れる機会として、小中学校芸術鑑賞教室や発声の基礎を学ぶボイストレーニング事業を実施した。</p> <p>老朽化が進む施設を、計画的な修繕を図るため、修繕計画を基に年次計画で修繕を進める。</p> <p>平成30年度は屋根雨漏り修繕工事(二期工事)を実施した。</p>	<p>◆町民総合センター利用者数</p> <p>【H32 目標】 26,500人</p> <p>【H30 実績】 24,488人</p> <p>【H21 実績】 23,505人</p>	<p>様々な芸術文化に触れることができるよう、優れた芸術作品の鑑賞の機会や、日ごろの活動の成果を発表する場の提供に努めていく。</p> <p>老朽化が進む施設を、計画的に修繕を行い、施設維持を図っていくとともに、大規模改修等も検討しながら、特に、開館以来更新していない冷温水発生機や、照明配電盤等の設備も含めて、年次計画により修繕を進めていく。</p>

事業計画	事業実施状況	達成状況の点検・評価	指標の点検	今後の対応
		<p>読書普及活動及び図書利用促進については、利用時間を4月から9月までが午後7時までに時間延長した。</p> <p>子ども読書週間、読み聞かせ活動や出張お話広場、こどもみらい館との連携による乳幼児対象のブックスタート等を開催した。</p> <p>さらには、「あ～すまいり～ず」と連携した事業展開を積極的に行った。</p> <p>(ほぼ達成)</p>	<p>◆町民総合センター図書貸出冊数</p> <p>【H32 目標】 17,000 冊</p> <p>【H30 実績】 16,213 冊</p> <p>【H21 実績】 14,949 冊</p>	<p>蔵書数を増やすとともに、若者にも興味を持てるヤングアダルト部門の充実を図る。また、「あ～すまいり～ず」と引き続き連携した事業を行い、子どもたちが本に触れ合う機会の創出など読書普及活動の推進を図る。</p>